

平成16年10月15日
原子力安全対策課
< 18時30分記者発表 >

敦賀発電所 2 号機の運転状況について
(A 低圧給水加熱器ドレンポンプ出口部からのわずかな蒸気漏れについて)

(安全協定上の異常事象に該当しない軽微な事象)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 2 号機 (加圧水型軽水炉 ; 定格電気出力116.0万kW) は、定格熱出力一定運転中の平成16年10月15日12時45分頃、運転員がタービン建屋 1 階の A - 低圧給水加熱器ドレンタンク常用水位制御弁付近より 2 次系の水が滴下 (約 1 滴 / 秒) していることを発見した。

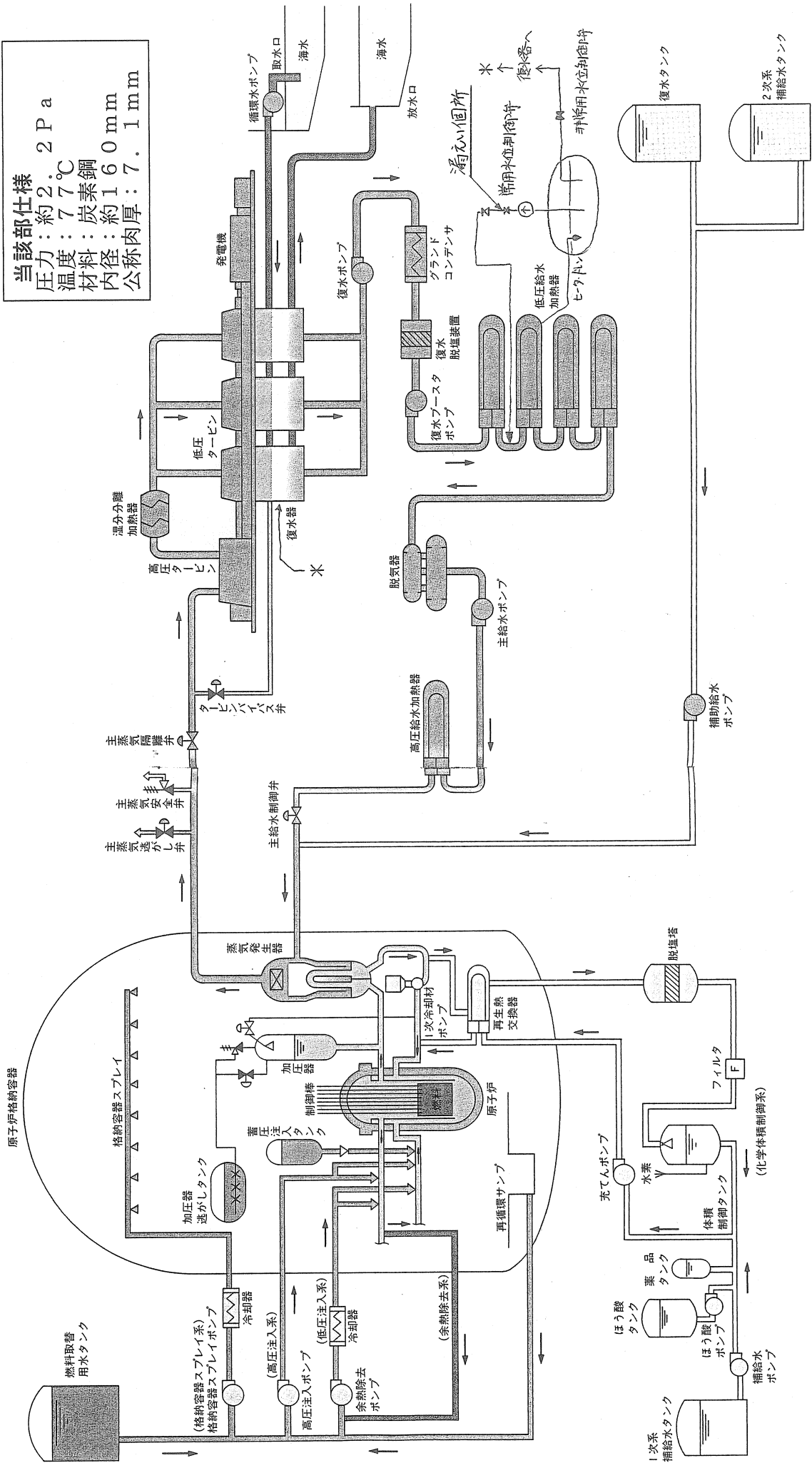
漏えい箇所特定のため、当該部の保温材を取り外したところ、13時55分頃、同制御弁下流側配管からのわずかな蒸気漏えいであることが確認された。なお、漏えい箇所の隔離は16時09分に終了し、蒸気の漏えいは停止している。

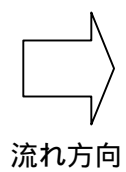
今後、配管の肉厚測定等を実施した後、点検修理を行う予定である。

この事象による環境への放射能の影響はない。

問い合わせ先(担当：山本) 内線2353・直通0776(20)0314
--

当該部仕様
 圧力：約 2.2 Pa
 温度：77℃
 材料：炭素鋼
 内径：約 160 mm
 公称肉厚：7.1 mm





漏えい部位の写真



漏えい部位の写真（拡大）